

次の予防接種を受ける方は、事前に協力医療機関に予約をしてから受けてください。
協力医療機関の確認は直接医療機関に問い合わせをするか、保健課にご連絡ください。

問合せ/保健課 ☎ 43-2252

高齢者の肺炎球菌

接種対象者/①次の年齢の方

65歳	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日生
70歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生
75歳	昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生
80歳	昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生
85歳	昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生
90歳	昭和7年4月2日～昭和8年4月1日生
95歳	昭和2年4月2日～昭和3年4月1日生
100歳	大正11年4月2日～大正12年4月1日生

予防接種のお知らせ

② 60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能または免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方(身体障害者手帳1級相当)
※身体障害者手帳の写しなどを接種医療機関にお持ちください

接種回数/1回
接種期限/令和5年3月31日
助成額/接種費用のうち3000円を助成します。生活保護の方は全額助成(緊急時医療依頼証や生活保護受給者証などの確認できるものを医療機関にお持ちください)。
自己負担額/接種医療機関に3000円を差引いた額の接種費用を支払って

ください。
持ち物/対象者宛ての通知書と自己負担する接種費用
その他/すでに肺炎球菌ワクチン接種を受けたことがある方は、対象外となります。
今年度の対象者以外の方は、全額自己負担となります。

おたふくかぜ(任意予防接種)

対象者・接種回数
① 満1歳から小学校就学前の希望者に対して2回を限度に助成(対象児には個人通知します)
② 小学生以上の希望者に1回助成(保健課で手続きが必要です)

助成額/接種費用のうち1回につき4000円を限度に助成します。生活保護の方、非課税世帯の方は全額助成。
自己負担額/接種医療機関に4000円を限度に差引いた額の接種費用を支払ってください。

持ち物/母子健康手帳、予診票、自己負担する接種費用(必要時:健康保険証、診察券、お薬手帳など)

一種混合(DT)

接種対象者/11歳以上13歳未満:今年度は平成22年4月2日から平成23年4月1日生まれ(今年度小学6年生になる方)に予診票を送付しています。

接種回数/1回
自己負担額/無料
持ち物/母子健康手帳、予診票(必要時:健康保険証、診察券、お薬手帳など)

ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症

接種対象者
① 小学6年～高校1年相当の女子(標準的な接種期間は中学1年)
② キャッチアップ接種対象者(平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女子で、3回のワクチン接種が完了していない方)

接種場所/秋田県内の協力医療機関
※やむを得ず県外の医療機関での接種を希望される方は、保健課へお問い合わせください。

接種回数/3回
※接種スケジュールはワクチンの種類によって異なります。

接種期間/高校1年相当の年度の3月31日
※ただし、平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれは令和7年3月31日まで

自己負担額/無料
持ち物/母子健康手帳、予診票(必要時:健康保険証、診察券、お薬手帳など)
その他/キャッチアップ接種対象者の方で、任意接種(高校2年生以降)でワクチン接種を受けた方の費用助成については現在準備中です。決まり次第広報ホームページでお知らせします。

標準接種
(平成21年10月2日以降に生まれた方)
3歳になったら1期1回目
↓(6日～28日あける)
1期2回目
↓(6か月以上あける…標準は1年)
4歳になったら1期追加

7歳半まで終了

9歳になったら2期

13歳未満まで終了

接種対象者・回数・接種期限
次の表を参照し、期間内に接種してください。
自己負担額/無料
持ち物/母子健康手帳、予診票(必要時:健康保険証、診察券、お薬手帳など)

日本脳炎

接種対象者・回数
(1期)1歳～2歳未満に1回
(2期)小学校就学前(年長児)の年度内に1回:今年度は平成27年4月2日から平成28年4月1日生まれが対象です。
自己負担額/無料
持ち物/母子健康手帳、予診票(必要時:健康保険証、診察券、お薬手帳など)

麻疹風しん混合(MR)

平成21年10月2日以降に生まれた方で7歳半までに1期3回分を完了していない方
※3回分の接種で基礎免疫を獲得できますので、4回目の接種は必要ありません。

1期2回接種済	1期1回接種済	すべて受けていない
1期3回目…予診票使用 ↓(6日～28日あける) 13歳未満まで終了	1期2回目…予診票使用 ↓(6日～28日あける) 1期3回目…自己負担 13歳未満まで終了	1期1回目…予診票使用 ↓(6日～28日あける) 1期2回目…自己負担 ↓(6か月以上あける) 1期3回目…自己負担 13歳未満まで終了

特例措置対象1(平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの方)
※13歳未満までに1期の不足分と2期を定期予防接種として受けられます。

1期3回接種済	1期2回接種済	1期1回接種済	受けていない
9歳になったら2期 ↓(6日以上あける) 13歳未満まで終了	9歳になったら1期追加 ↓(6日以上あける) 2期 13歳未満まで終了	9歳になったら1期2回目 ↓(6日以上あける) 1期追加 ↓(6日以上あける) 2期 13歳未満まで終了	9歳になったら1期1回目 ↓(6日～28日あける) 1期2回目 ↓(6か月以上あける) 1期追加 ↓(6日以上あける) 2期 13歳未満まで終了

特例措置対象2(平成19年4月1日以前に生まれた方)
※20歳未満までに1期の不足分と2期を定期予防接種として受けられます。

1期3回接種済	1期2回接種済	1期1回接種済	受けていない
2期 ↓(6日以上あける) 20歳未満まで終了	1期追加 ↓(6日以上あける) 2期接種 20歳未満まで終了	1期2回目 ↓(6日以上あける) 1期追加 ↓(6日以上あける) 2期 20歳未満まで終了	1期1回目 ↓(6日～28日あける) 1期2回目 ↓(6か月以上あける) 1期追加 ↓(6日以上あける) 2期 20歳未満まで終了

早期発見 があなたを救う。がん検診を受けましょう！

約2人に1人はがんになる時代

「自分はがんにならない」、「自分は健康だ」と考えている方はいませんか？生涯でがんになる確率は約2人に1人です。また、日本人の4人に1人はがんで亡くなっています。がんは他人事ではありません。身近な病気です。また、仙北市でも主要死因の第1位が悪性新生物（がん）となっています。

定期的に検診を受けましょう

初期のがんは、自覚症状がほとんどないため、気づいた時には進行していることが多いです。早期発見・早期治療を行うことで、がんによる死亡のリスクを減少させることができます。そのため、症状がなくても定期的にがん検診を受けることが大切です。

また、検診の結果「要精密検査」と診断された場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

がん検診は不要不急の外出ではありません

感染予防のためにがん検診を控えている方もいらっしゃるかもしれませんが、がん検診は「不要不急の外出」には当たりません。完治できるはずのがんを見逃さないために、コロナ禍でも積極的にがん検診を受けましょう。

6月から各種がん検診が始まります。
この機会に検診を受けて、自分の健康状態をチェックしましょう。

問合せ／仙北市保健課 ☎ 43-2252

市立角館総合病院での検診について

3種類の検診を受けることができます。

- 肺がん等検診 … 40歳以上の方
- 子宮がん検診 … 20歳～40歳の女性、41歳以上の偶数年齢の女性
- 乳がん検診 … 40歳以上の偶数年齢の女性

予約方法／

- ① 電話で希望の検診名をお伝えください。
(受診券をお手元に準備してください)
 - ② 氏名、生年月日、住所、電話番号、保険種別をお伝えください。
- ▶ 予約受付期間／5月20日(金)～令和5年1月12日(木) 11:00～16:00
※やむを得ずキャンセルする場合も、必ず病院へ連絡をお願いします。

肺がん等検診
子宮がん検診
乳がん検診

お得に検診を受けられる方もいます！検診の人数が限られています。
**早めに
ご予約ください!!**

検診名	検診期間	受付時間	注意事項	料金
肺がん等検診 (CT検査)	6月9日(休)～ 令和5年1月26日(木) 【木曜のみ】	15:00～15:15	集団健診のレントゲン検査と角館総合病院のCT検査を重複して受診することはできません。	2,000円
子宮がん検診	6月6日(月)～	12:45～13:00	待ち時間が長くなる場合がありますので、受診日は余裕をもってお越しください。	1,300円
乳がん検診	令和5年1月24日(火) 【月・火曜のみ】			1,000円

＜乳がん検診を受診される方へ＞

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を避けるため、ワクチン接種後2週間以内の受診はできるだけ避けることをお勧めします。

予約・問合せ／市立角館総合病院 医事課 健診係 ☎ 54-2145

悩んでいる人の支えになりたい、地域での孤立を防ぐ活動をしたいという方に

居場所づくりセミナーのご案内

自分と周囲とのよりよい関係づくりや相談技術の向上、居心地のよい居場所づくりについて考えてみませんか。全3回の研修を通して学んでいきます。自己学習として気軽にご参加ください。

【対象】・傾聴活動や居場所づくりに興味のある方
・各種集いの場活動関係者の方
・令和3年度こころのゲートキーパー養成講座、フォローアップ講座を受講された方
5月27日(金)まで電話で申し込みをお願いします。

今後の予定
第2回目 7月1日(金)
講師 NPO 法人蜘蛛の糸 鎌田悠香子氏
第3回目は10月頃の開催予定です。

1回目の研修

- ▶ 場所／市役所角館庁舎 101・102 会議室
- ▶ 日程／6月3日(金)
- ▶ 受付／13:40～14:00(講演終了は15:30を予定)
- ▶ 講師／臨床心理士・公認心理師 高橋志穂子氏
相談対応や各地での講演活動、スクールカウンセラーなど様々な活躍をされている方です。

申込み・問合せ／
仙北市保健課 ☎ 43-2252

～認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して～

仙北市見守りあんしんシールを配布します

厚生労働省の推計によると、2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になるとされています。認知症は誰もがかかるかもしれない病気といえるでしょう。また、2020年中に認知症やその疑いで行方不明となり警察に届け出があったのは、全国で1万7565人にのぼっています。仙北市では、認知症などによる行方不明者が発生したとき、地域の皆さんの力で早期発見につなげ、行方不明者の安全の確保のため見守りあんしんシール交付事業を3月から開始しています。大切なご家族が行方不明になったときのために、ぜひご利用ください。

▶見守りあんしんシール交付事業とは

認知症などにより行方不明になるおそれのある人に、あらかじめ衣類などに貼られている見守りあんしんシールの二次元コードを発見者がスマー

トフォンなどで読み取ることで保護者(家族など)に発見通知メールが送信されます。

行方不明者の保護者に発見通知メールが送信された後は、サービス内の伝言板機能を使うことで、発見者と保護者が互いに必要な情報をやり取りすることができます。また、保護者は発見者に住所や電話番号などの個人情報を知らせる必要はありません。

▶交付対象者

認知症などで行方不明のおそれのある方など

▶費用 無料

希望する方は、包括支援センターまでお問い合わせください。

問合せ／
仙北市包括支援センター ☎ 43-2283



5月 献血のお知らせ 5/31 日

病気やケガなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、献血のご協力をお願いします。

- ▶ 10:00～11:15 (株)成立田沢湖工場
- ▶ 12:00～13:00 日東光器(株)田沢湖工場
- ▶ 14:30～16:00 田沢湖総合開発センター

問合せ／仙北市保健課 ☎ 43-2252